

一括点の作成チュートリアル

一括点の作成_チュートリアル.zip



一括点の作成_概要

🔧 主な機能

- 座標のデータを基準にモデルに一括点、線を作成
- 2Dスケッチ、3Dスケッチの選択的作成の機能
- 区切り記号、単位設定の変更機能

⚙️ 業務効果

- 複雑なスケッチの座標データを基準に一括作成
- データを一括追加して手動の作業時間が短縮できる

🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながら一括点の作成の使用法を学ぶ

一括点の作成

座標を読み込む

すべて除去

	X	Y	Z
16	52.146	25.48	0
17	56.348	46.015	0
18	45.652	55.781	0
19	84.758	86.823	0
20	92.857	74	0.372
21	116.771	92.9399	0
22	91.2633	143.898	0
23	17.729	86.957	0
24	27.417	157.904	0
25	0	235	0

点の数量25

区別記号 ; 単位 mm

スケッチ

☐ 2Dスケッチ 正面
 ☒ 3Dスケッチ

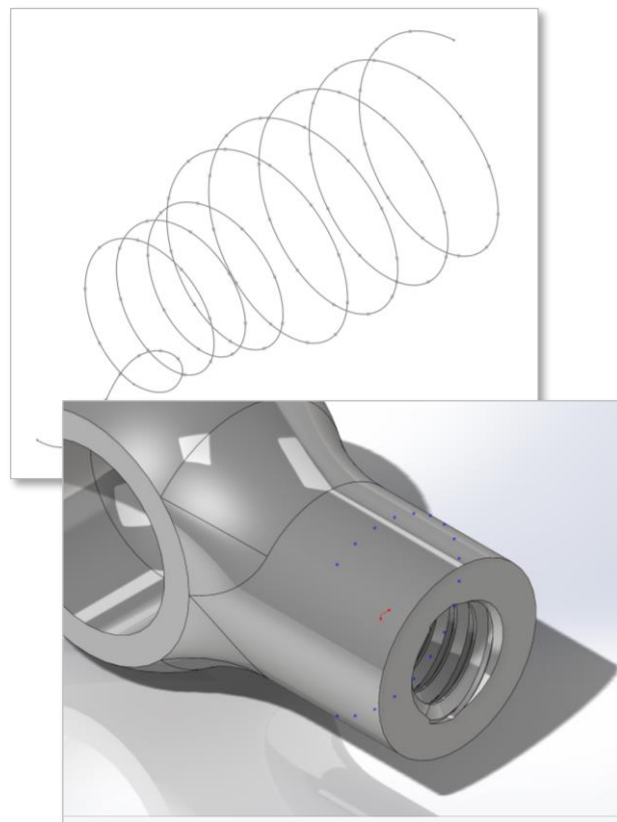
追加項目

☒ 座標点
 ☐ 直線
 ☐ 曲線

☐ 新しいファイルに作成

作成

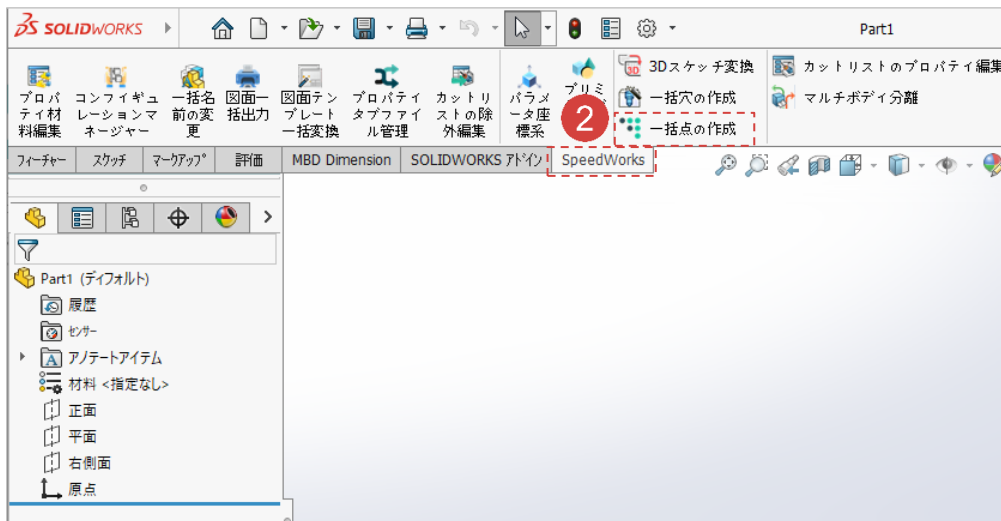
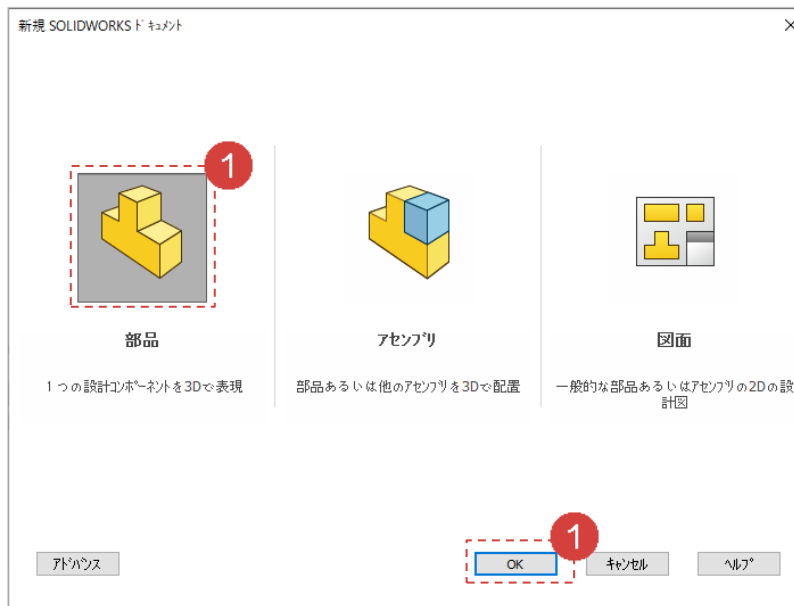
閉じる



一括点の作成_実行

① SOLIDWORKSで新しいドキュメント - [部品]を作成します。

② [SpeedWorks]タブ - [一括点の作成]ボタンをクリックしてツールを実行します。



※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート
>資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

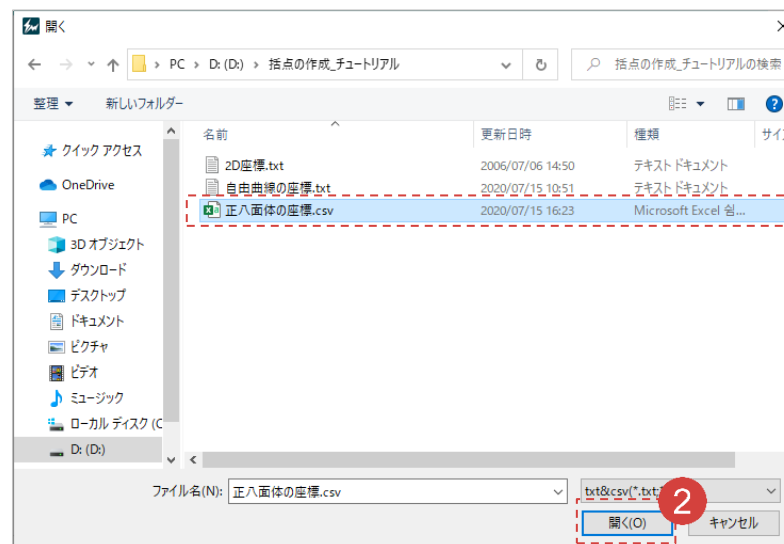
赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

一括点の作成_座標の追加

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① [座標を読み込む] ボタンをクリックします。

② 例題のファイル中正八面体の座標.csvを選択して [開く] ボタンをクリックします。

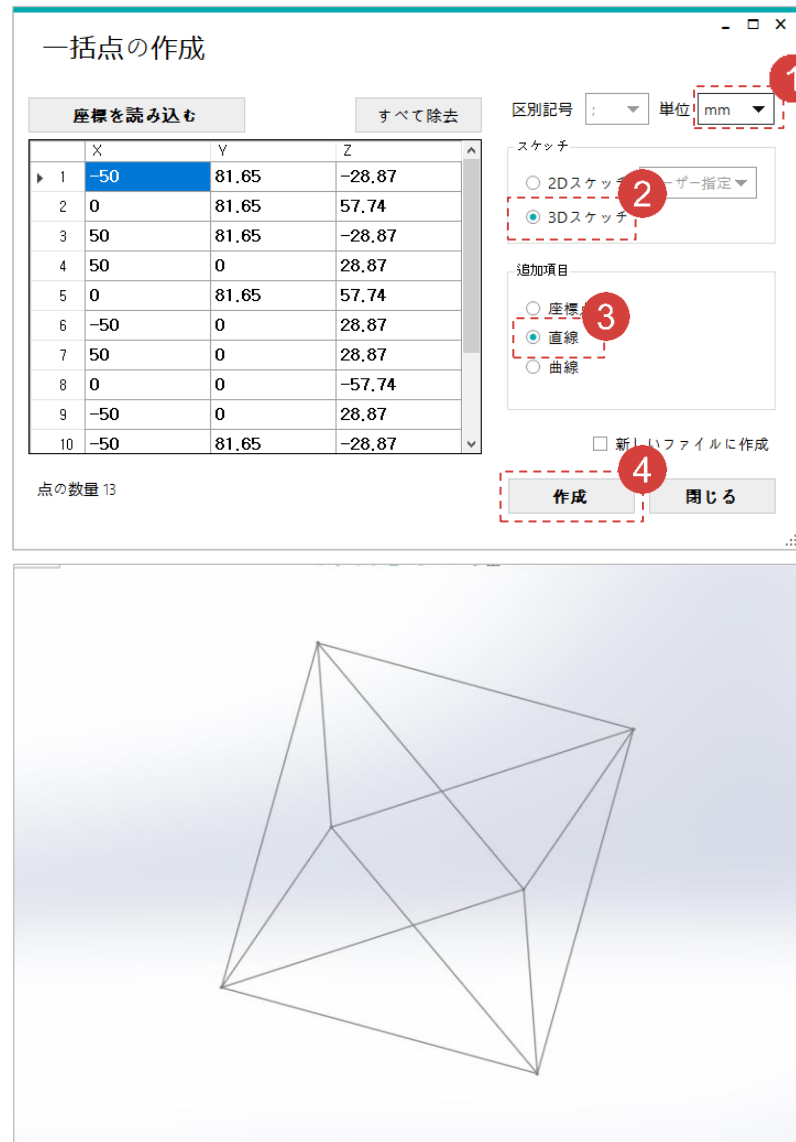


一括点の作成_直線作成

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

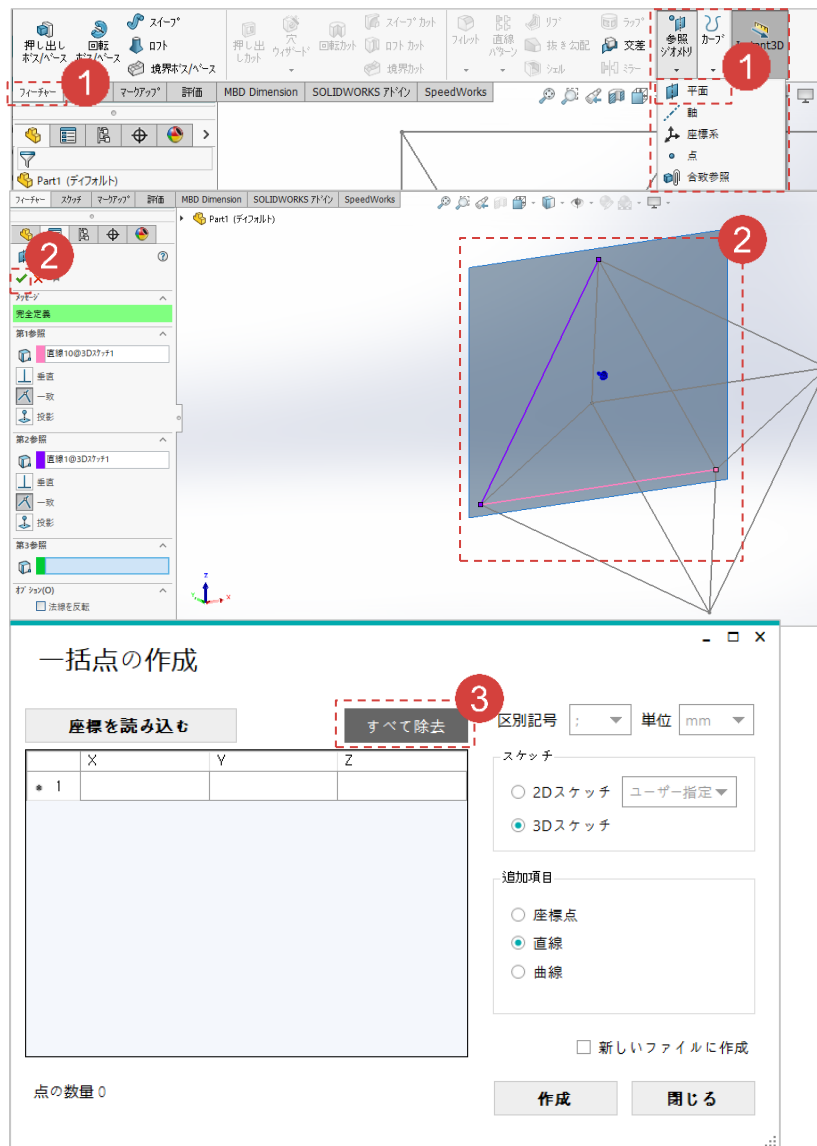
- ① [単位]は'mm'を選択します。
- ② [スケッチ]で[3D スケッチ]をチェックします。
- ③ [追加項目]の中で[直線]をチェックします。
- ④ [作成]を押して読み込んだ座標に直線を作成します。

1 次のように3次元の正八面体が作成されます。



一括点の作成_平面の追加

- 1 SOLIDWORKS- [フィーチャー] – [参照ジオメトリ] – [平面] をクリックします。
- 2 接点を共有する二つの直線を選択して平面を作成します。
- 3 一括点の作成パネルの[すべて除去]を押して既存座標の情報を削除します。

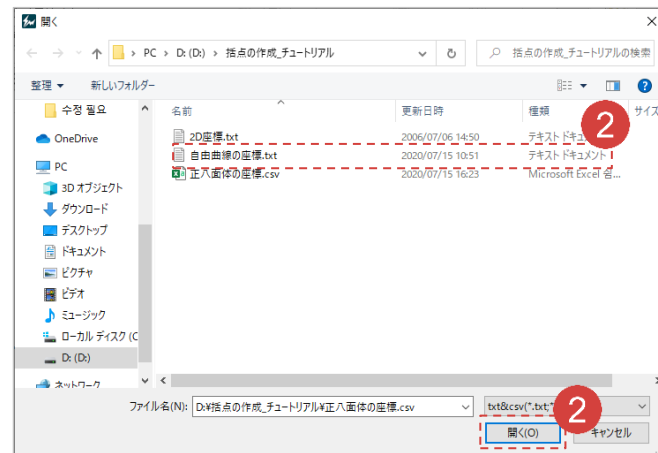


赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

一括点の作成_座標の追加2

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- ① [座標を読み込む] ボタンをクリックします。
- ② 例題のファイル中 自由曲線の座標.txt を選択して開くボタンをクリックします。
- ③ [スケッチ]の[2Dスケッチ]をチェックして[ユーザー指定]面を選択します。
- ④ [追加項目]の[曲線]をチェックします。
- ⑤ SOLIDWORKSで前回作成した平面を選択します。
- ⑥ [作成] ボタンをクリックします。



一括点の作成_自由曲線の追加

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- ① パネルで[3DSketch1]を右クリックして非表示を押します。
- ② このような方法を利用すると、基礎平面(上面、正面、右側面)のみならず参照ジオメトリの平面に点や線を追加することができます。

